

平成28年度 第1回 山県市総合教育会議 議事録

1 開催日時

平成29年1月30日（月曜日） 午前9時00分～午前9時50分

2 開催場所

山県市役所3階 301会議室

3 出席者

市長 林 宏優
教育長 伊藤 正夫
教育委員 大野 良輔
川田 八重子
江崎 由里香

4 欠席者

教育委員 藤岡 功

5 事務局等の出席者

学校教育課長 早川 剛
生涯学習課長 梅田 義孝
公民館長 堀 邦利
学校教育課 恩田 拓充 木田 好美 平野 裕也
生涯学習課 日比野 希由

6 協議事項

- (1) 山県市教育振興基本計画（大綱）の進捗について
- (2) 平成29年度教育委員会重点事業について

7 会議の概要

(午前9時00分開会)

事務局恩田 本日はお忙しい中ご参集いただきありがとうございます。

これより平成28年度第1回山縣市総合教育会議を開会させていただきます。開会にあたり、市長からご挨拶申し上げます。

市長 改めまして、皆さん、おはようございます。

本日は、山縣市総合教育会議でございますけれど、昨日は県知事選挙がありまして、この頃感じますのは、昨年から今年にかけて世の中が大きく動いているということを実感しています。世の中の仕組みが大きく変わろうとしています。国外では難民問題など解決困難な問題も多く発生しています。国内においては、よく政治の世界では、安定していることが大切であるといわれますが、政治的にも社会的にも安定していることが大切であるということを実感している今日この頃です。

本日の総合教育会議は、教育委員会制度が変わりまして、教育委員の皆様と首長が一緒になって会議を行うというのは、昨年に引き続きまして2回目になります。いままで市長部局の関わりは施設整備などに限定してしまして、首長が政治的に教育に関わらないとしてきましたが、ここ2年ほどで制度が変わり、教育委員と首長が一緒になって市の教育のあり方を議論していく場を設けることになりましたので、ご意見などをいただきながら、市の教育を一緒になって進めていきたいと思えます。

私の思いといたしましては、前回もお話しさせていただきましたが、「師を仰ぐ心」というものを今まで以上に学校教育から生涯学習まで取り入れていただきたいということです。親や先生、先輩や地域の方々を敬う心を学校教育の中で取り入れれば、子どもたちも受け入れやすいと思えますし、社会に出ましても、今は上司との関係ですぐにパワーハラスメントなどと問題になったりしますが、上司や先輩を仰ぐ心というものが身につけば、同じ言葉をかけられても違う受け止め方ができるということで、自分自身の仕事の力に繋がっていくので

はないかと思えます。家庭があつて、地域があつて、国があるということで、国や社会が安定していかないとこれからの世界の情勢の中で混乱が生じてくるというのがありますので、そのような心を子どもたちの中に養っていただきたいと思えます。今市内の学校では、蛍の光と仰げば尊しを卒業式で歌わないようになっていますが、以前、山県高校の校長先生に卒業式で蛍の光を歌って、子どもたちがその歌詞に感激して涙を流していたというお話しを伺ったことがあります。市外の公立高校でも蛍の光と仰げば尊しは歌っているそうですし、小学校の卒業式で歌っているのをニュースで見かけることもありますので、公立の学校で歌っていないということはありませんから、このようなことを含めながら、いろいろな機会をとらえて「師を仰ぐ心」というものを育てていただきたいと思えます。

私の方もいろいろと努力をいたしますので、皆様のご協力をお願いいたします。

事務局恩田

ありがとうございました。

それではお手元の次第にそつて協議事項に入りたいと思えます。市長の議事進行によって進めさせていただきます。市長、お願いいたします。

市長

それでは、議事を進めさせていただきます。

最初に、山県市教育振興基本計画、大綱でございますが、これの進捗につきまして事務局に説明を求めます。

学校教育課長

それでは最初に学校教育の分野からご説明いたします。お手元の資料1の中で、6つの重点目標のうち、重点目標の1から3までが、主に学校教育の所管となります。そこに主要施策が1から11までありますが、時間も限られておりますので、その中で今年度から来年度にかけて大きく進んでいるものについてご説明させていただきます。

まず、主要施策1の(2)個別指導及び問題解決学習等授業改善事業についてですが、簡単に言いますと学校教育の大きな柱として、子どもたちに授業等を通して確かな力をつけるということで、何よりも学校教育でやらなければならない使命だと思っております。子どもた

ちに学力をつけるため、今まさに授業を改善していかなければならないという視点があります。市内の学校すべてで校長を中心にこのことに取り組んでおりますが、今年度岐阜県の中で大学と連携して子どもたちに学力をつけていくといった事業がありまして、山県市が唯一岐阜県地区でこれに手をあげました。具体的には岐阜大学や岐阜聖徳学園大学の先生に学校に来ていただいて、授業をみていただく。それが1つの学校で終わらないよう、例えば美山小学校でそのような授業を行うときに、他の学校の先生方にもみていただくなどして、市全体の子どもたちの学力向上を願って今年度取り組んで参りました。これのまとめとしまして、2月に市内教員の研修会がありますが、ここにも大学の先生に来ていただき、お話をしていただきながら美山小学校が今年取り組んだ実践の発表を行います。来年度もこの岐阜県の事業は続きますので、山県市もぜひ引き続き行いたいとして調整を進めております。

2つ目は主要施策2の(3)地域とともにある学校の推進事業ですが、山県市はコラボレーター事業から始まり、今はコミュニティスクールの山県市版として、市内小中学校のすべてで学校運営協議会が立ち上がっています。すべての学校で立ち上がっているというのは、県内でも早い方でございます。山県市版とういことの特色としまして、美山中学校区、伊自良中学校区に、それぞれ中学校区ごとの学校運営協議会が立ち上がっています。地域の特性とか小規模な小学校もありますので、中学校区で子どもたちを育てるのにはどのようにしたらよいかを考えていただく、行動を起こしていただくという意味から、立ち上がっています。今年度いろいろな事業を各学校運営協議会で取り組んでいただき具現をしてもらいましたが、来年度もより一層進んでいきたいと考えています。

3つ目は主要施策7の快適な学習環境整備の推進の(1)冷暖房設備整備事業でございます。長年の懸案でありましたが、市長の英断と尽力により来年度に向けて大きく進んでおります。国の補助金を受けて実施することになりまして、今は設計の委託が始まりました。来年

度早い時期に工事に取りかかれなかと考えております。また、学校内の照明をLEDに切り替えて電気の消費を抑えるエコ化にも取り組んでまいります。来年度に小中学校の子どもたちの学習環境は劇的に変化するのではないかと考えておりますので、学校訪問等の際には、そのようなことも見ていただければと思います。

その他に事業もありますが、時間も限られておりますので、以上3つにつきまして、進捗状況をご説明させていただきました。以上でございます。

事務局恩田 ありがとうございました。続きまして生涯学習課の方から説明をお願いします。

生涯学習課長 生涯学習課の方は、主要施策12から21まででございますが、各事業につきましては順調に進捗しております。その中で、何点かに絞ってご説明させていただきます。

主要施策12の(2)放課後子ども総合プランに基づく放課後子ども教室についてですが、福祉課の放課後児童クラブと一緒に進めていくというのが放課後子ども総合プランの推進ですが、現在放課後児童クラブが伊自良南小学校、桜尾小学校、美山小学校にありまして、ここに教室を開設して事業を行っております。学校の授業が終わってからの1時間程度を放課後子ども教室として活用していきたいと考えておりますけれど、一番の課題は保護者への引き渡しであります。放課後児童クラブは保護者が迎えに来るまで預かっておりますけれど、放課後子ども教室は預かりではなく、子どもの居場所づくりが主な目的でして、教室が終わった後に、どのように子どもを安全に親に引き渡すかという課題がございます。当方の方針としましては、学力のアップという方向で進んでおりまして、地域の文化を子どもたちに与えるということも大切ではありますが、現在は学力のアップを重点に方法について模索をしております。

続いて主要施策15でございますが、この中で特に軽スポーツ、スポーツレクリエーションにつきまして、今年度岐阜県で全国スポーツレクリエーション大会が開催されまして、だれもがスポーツを楽しめ

るということを推進していかなければならないということで、その環境づくりのために、スポーツ推進員などが、いろいろな軽スポーツの普及に取り組んでおります。さらに来年度は、市単独でスポーツレクリエーション大会を開催したいと考えております。

続きまして、主要施策18でございますが、文化財や伝統芸能等の継承推進ということで、地域にあります祭礼や伝承文化など無形の文化で市の指定を受けていないものがございますが、それが時代とともに風化して忘れ去られていくということで、平成27年度から3年間をかけて、後世に残すために保存のための調査研究を行っています。外部の専門家の方にご協力をいただいて昨年度から進めております。昨年3月に中間報告を花咲きホールで、市指定の重要無形文化財の公演とともにに行いまして、今年度は2月に1日目は美山地域の調査報告を美山中央公民館で、2日目は花咲きホールで市全体の調査報告と市指定重要無形文化財の公演を行うということで、2日間をかけて市内外に山県市の民俗文化を発信していきます。来年度は、主に成果となる調査報告書の策定となります。

続きまして、主要施策19の(1)青少年の海外派遣事業でございますが、現在はフローレンス市への海外派遣としておりますが、フローレンス市側の受入体制がなかなか整わないということで、この事業の転換を図っていかなければならないという状況にあります。このため今後どのように進めていくか、青少年の国際感覚をどのように磨いていくか、そのための方策を現在模索中であります。

生涯学習課に関しましては、以上でございます。

教育長

1つ付け加えさせていただきますと、市のレクリエーション協会に協会から手作りの軽スポーツの用具を特別支援学級の子どもたちに寄贈していただき、そのスポーツを教えていただくということをお願いしております。手作りですから一気に進みませんが、今年度中に数個はいただけるということです。

事務局恩田 ありがとうございます。以上で事務局からの説明を終了いたします。

市長 ただいま事務局からの説明につきまして、ご意見ご質問等ございましたら、お願いいたします。

 (意見、質問なし)

市長 それでは、ご意見等が無いようですので、山県市教育振興基本計画、大綱の進捗については、以上とさせていただきます。

 続きます。平成29年度教育委員会重点事業について、事務局に説明を求めます。

事務局恩田 それでは、資料2になりますが、平成29年度教育委員会重点事業について、まず学校教育課関係から説明させていただきます。

学校教育課長 平成29年度の学校教育の重点事業といたしまして、山県市が掲げております3つの重点的事項のうち「包括的な子育て支援」が学校教育に関わる部分であるとし、包括的という意味を捉え直し、子育ての支援を子どもたちへの支援へも捉えております。具体的に資料には新規のものが記載されておりますが、ハード事業とし、教育環境の刷新として、空調整備、照明のLED化があげてあります。ソフト事業とし、3つほどかかげてありますが、1つ目は市内唯一の県立高等学校である山県高校との連携であります。県全体の高等学校のあり方の見直しという中で、山県高校は第2グループと位置づけられておりますので、山県高校と連携して市としてバックアップできることを模索しながら行動を起こしつつあります。具体的なことでは、この2月から山県高校が市商工会の紹介で市内企業を回って企業が願う学校像などの聞き取り調査を行われますが、教育委員会もそこに同席して、一緒になって山県高校の将来像を考えて行くということを実施します。2つ目は、小学校英語の充実であります。平成32年度に小学校英語が完全実施となりますが、これを見据えて平成29年度から取組を実施していきたいと考えています。3つ目は、YAMAGATA版防災教育ということで、せっかく各学校で運営協議会が立ち上がったのに、学校の防災教育が校内のみのものにとどまっています、

いざ災害が発生したときに本当にそれで子どもたちの命が守れるかということがあります。特に中学生などは災害発生時に地域の担い手になって欲しいという願いもありますので、そのようなことを目指して実施していきたいと考えています。それから拡充であります、今年度の市のイクボス宣言と同時に市校長会も宣言を行いました、教職員の勤務形態の適正化である学校スリム化プロジェクトの拡充に努めていきたいと考えています。

ソフト事業のうち、小学校英語の充実、YAMAGATA版防災につきましては、別紙で資料があるかと思いますが、これは今年度「山県の魅力発信プロジェクト」という、市職員の若手を中心としたプロジェクトチームが発足しまして、本日出席している2人の若手職員はそのメンバーとして、専門の分野ではないこのことについて、自分で学び、考えながらこの資料を作成してくれました。せっかくの機会ですので2人から資料の説明をしたいと思います。よろしくお願いします。

生涯学習課日比野 いま学校教育課長の方から紹介がありましたが、山県の魅力発信プロジェクトチームの中で、私たち2人に福祉課からの2人が加わりまして、この2つの事業についてそれぞれ計画を作成しました。紹介の中にもありましたが、全くの素人が作りましたので、皆さんの厳しい目を見ていただきご意見をいただければと思います。

私が作成したのは「YAMAGATA英語スキルアッププラン」というもので、平成32年に小学校の英語が教科化されることに向けて、早ければ平成29年から時間をかけて段階的に英語に取り組んでいければという思いから考えたものです。具体的には英語教科化に向けてスキルアップチームを編成し、小中学校等が連携して英語教育に取り組むことによって、子どもたちが将来山県市を担っていく人材に育つよう、小学校からコミュニケーション能力の基礎づくりができるような授業の進め方を考えていきたいとしました。目指す姿は、子どもたちのスキルアップとして、将来的には英語でコミュニケーションができる子に、次に先生たちのスキルアップとして、ALTや英語教科の先生以外にも英語が指導できる先生が増えていくように、最後は小中間

のバランスアップとして、スキルアップチームによって、小中学校間の教員、児童、生徒間の円滑な運用力が目指せればと思います。これまでの取組からの課題としまして、ALTに内容を任せることが多い、各校ごとに内容や教材にばらつきがある、中学校英語で必須の読み、書き、コミュニケーションの要素が不足しているなどがあり、このままでは平成32年の教科化とともに中学校英語への移行も難しいのではないかと思います。解決のための方策として、現在の年35時間はそのままに、スキルアップチームが中心となって年々時間を増やしていき、平成32年に年70時間に到達できればと思います。スキルアップチームの主な取組は、平成32年用学習指導案等の作成、中学校教諭による小学校での授業のサポート、中学校区単位での研修、授業の実践などです。いきなり年35時間であったものを年70時間にすることは難しいことなので、小中学校、教育委員会が連携し、時間をかけて年70時間の英語教育に対応できるようになればと思います。英語スキルアッププランについては以上です。

学校教育課平野 それでは続きまして、「YAMAGATA版」防災教育の推進についてご説明いたします。

ここで「YAMAGATA版」といたしましたのはポイントが2つありまして、1つ目は誰もが実行できる計画であるということ、2つ目は地域と学校が一緒になって防災計画、防災教育の推進をしていくということです。まず今までの取組を振り返ってみますと学校施設の耐震化の推進、学校内での命を守る訓練の実施、保護者との連絡手段の確立などですが、これと災害発生時の現状である、大きな地震は80%以上が教育活動時間以外に発生している、市内の全小中学校が指定避難場所になっていることを合わせて考えると課題として出てくるのが、1つ目は家庭や地域を含めての防災教育も必要ではないか、2つ目が学校と地域がどのように連携をしていくのかを考える必要があるのではないかということです。そこで平成29年度を「YAMAGATA版」防災教育への取組として、家庭や地域とともに防災教育を考え、いつでも、誰でも行動できるよう学校と地域の連携を構築していくスタートの年

にしたいと考えました。これを進めていくステップとしては、最初に防災教育の位置づけの明確化として、教育委員会が指針を策定し、これを受けて各学校が学校運営協議会など地域と一緒に防災教育の実施計画を作成していただき、この計画を進めることで学校と地域の連携を構築していきたいと考えました。これらによって最終的に目指す姿は、自分の命は自分で守る力を確実につけていき、中学生については周りの人も助けられる力も育て、地域力で子どもたちの命を守り育てていくことと考えました。防災教育の推進についての説明は以上です。

事務局恩田 ありがとうございました。以上で学校教育の重点事業の説明について終了します。続きまして、生涯学習の重点事業についてお願いします。

生涯学習課長 生涯学習の方は特に資料を用意しておりませんが、先ほども申し上げました資料1の主要施策15の生涯スポーツの推進ということで、平成29年度は市単独でスポーツレクリエーション大会を開催し、誰もがスポーツレクリエーションを楽しめる環境づくりを行っていきたくと考えています。また、市体育協会の主催で、教育委員会が協力、共催してジョギング大会を行っていますが、今年は距離を伸ばすなどグレードアップしておりまして、将来的にはハーフマラソンを目指すという計画を持っており、スポーツで山県市の発信を行っていくという取組を行っていただきますので、教育委員会の方も協力していきたいと考えています。それから主要施策16の文化芸術の活動基盤の充実と活動の推進では、花咲きホールの活用推進があげてありますが、花咲きホールだけで文化芸術を行うのではなく、最近はホールの外へ出て文化芸術を発信していく方法に変わってきております。山県市では平成17年から文化芸術を学校に届けるアウトリーチ事業を実施しておりますが、最近は、保育所や福祉施設などいろいろな分野に文化芸術を浸透させていくという活動を実施しておりまして、来年度以降も引き続き行っていきたいと考えています。それと先ほど申し上げました文化財や伝統芸能等の継承推進につきまして、来年度が最終年度となり

ますので報告書を作成していきたいと考えております。生涯学習については以上でございます。

市長 ただいま事務局からご説明させていただきました。ご意見がございましたらお願いします。

(意見、質問なし)

市長 それでは、ご意見が無いようですので、平成29年度教育委員会重点事業については、以上とさせていただきます。

以上をもちまして、協議事項は全て終了いたしました。

ありがとうございました。

事務局恩田 これをもちまして、平成28年度第1回の山口市総合教育会議を閉会します。ありがとうございました。

(午前9時50分閉会)

事務局恩田 引き続き、山口市の教育について意見交換会を開催します。

◇ ◇ ◇ ◇ 市長と教育委員の意見交換会 ◇ ◇ ◇ ◇